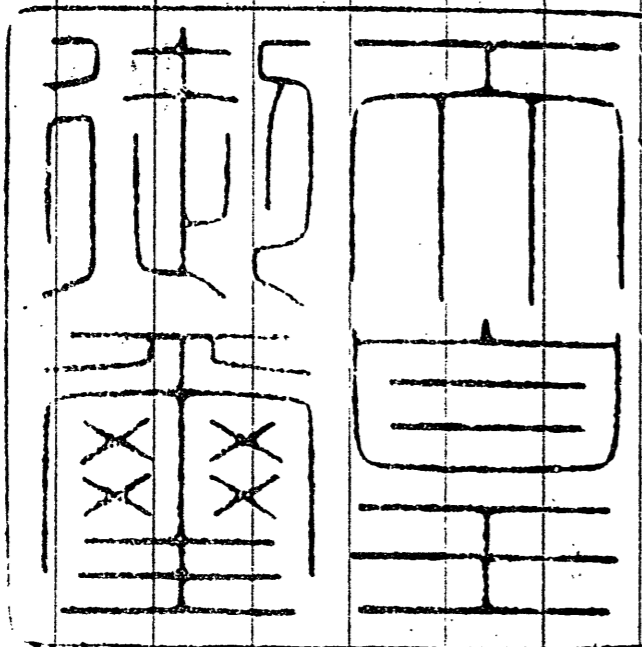


勅令第百九十號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ官吏任用敍
級令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十一年四月一日

内閣總理大臣野村胡堂
原喜重郎

照
月

勅令第百九十號

官吏任用敍級令

第一條 親任式ヲ以テ任ズル官ヲ除クノ外官ヲ分チテ一級、二級及三級トス

第二條 二級官吏ノ任免及敍級ハ内閣總理大臣之ヲ奏薦シ其ノ各省及各省所屬ノ各廳ニ屬スルモノハ内閣總理大臣ヲ經由シテ主任大臣之ヲ奏薦ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ都廳府縣長官ノ^{監督}ニ屬スル公立學校ニ係ルモノノ主任大臣ハ文部大臣トス

第三條 官吏ノ任用及敍級ノ資格ハ親任式ヲ以テ任ズル官及特別ノ規定アル官ニ係ルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

内閣

第四條 事務官吏（第七條乃至第九條に掲ぐる官以外ノ事務官其ノ他ノ官ヲ謂フ以下同ジ）ニシテ三級ノモノノ任用ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ付之ヲ爲ス

- 一 普通試験ニ合格シタル者
- 二 高等試験令第七條ノ規定ニ依リ高等試験豫備試験ヲ受クルコトヲ得ル者
- 三 高等試験令第八條ノ規定ニ依リ高等試験豫備試験ヲ免ゼラルル者
- 四 高等試験ニ合格シタル者
- 五 二年以上官吏ノ職ニ在リタル者
- 六 三年以上待遇官吏ノ職ニ在リタル者

七 四年以上履員タリシ者

八 四年以上東京都、北海道、府縣、市町村又ハ之ニ準ズルモノノ有給吏員ノ職ニ在リタル者

九 其ノ從事スル職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ニシテ普通試験委員ノ銜ヲ經タルモノ

前項第五號乃至第八號ニ規定スル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス但レ所要ノ在職年數ヲ滿ニスル各職ノ在職年數ヲ通算スル場合ニ於テハ甲職ノ在職年數ノ其ノ職ノ所要在職年數ニ對スル比率ヲ乙職ノ所要在職年數ニ乘ジテ得タル年數ヲ甲職ノ在職年數トシテ乙職ノ在職年數ニ通算ス

第五條 二級事務官吏ノ任用及級級ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ付之

ヲ爲ス但シ秘書官ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

一 高等試験行政科試験ニ合格シタル者

二 二年以上判事又ハ檢事ノ職ニ在リタル者

三 四年以上一級又ハ二級ノ事務官吏ノ職ニ在リタル者

四 大學令ニ依ル大學ノ學部ニシテ其ノ從事スル職務ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノニ於テ其ノ學科ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ二年以上事務官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ト同種ノ職務ニ從事シタルモノ

五 専門學校令ニ依ル専門學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト認定シタル學校ニシテ其ノ從事スル職務ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノニ於テ其ノ學科ヲ修メ卒業シタル者ニシテ四年以上

事務官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ト同種ノ職務ニ從事シタルモノ

六 八年以上三級事務官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ト同種ノ職務ニ從事シタル者

七 其ノ從事スル職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ニシテ高等試験委員ノ銓衡ヲ經タルモノ

前條第二項ノ規定ハ前項第二號及第三號ニ規定スル各職ノ在職年數ノ通算竝ニ前項第二號及第三號ニ規定スル各職ノ在職年數ノ前項第一號及第五號ニ規定スル大學ノ學部又ハ學校ニシテ其ノ從事スル職務ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノ竝ニ同項第四號乃

附
内
閣

至第六號ニ規定スル開種ノ職務ハ高等試験委員之ヲ認定ス

第一項第四號乃至第七號ノ規定ニ依リテ任用又ハ叙級ヒラレタル二級事務官吏ニシテ四年以上其ノ職ニ在リタルモノハ當該官トシテ從事シ得ル他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

第六條 一級事務官吏ノ任用及叙級ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ付之ヲ爲ス但シ内閣書記官長、法制局長官、各省政務次官及各省參事官ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

一 前條第一項第一號又ハ第二號ノ資格ヲ有シ一年以上一級官吏ノ職ニ在リタル者

二 前條第一項第一號又ハ第二號ノ資格ヲ有シ八年以上二級官吏ノ職ニ在リタル者

三 其ノ從事スル職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ニシテ一級官吏銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タルモノ

第四條第二項ノ規定ハ前項第一號及第二號ニ規定スル各職ノ在職年數ノ通算ニ付之ヲ準用ス

第七條 技能官吏ハ技官、教官其ノ他特別ノ學術技藝ヲ要スル官ヲ關フ以下同ジニシテ三級ノモノノ任用ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ付之ヲ爲ス

一 大學令ニ依ル大學ノ學部ニシテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノニ於テ其ノ學科ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 專門學校令ニ依ル專門學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト

認定シタル學校ニシテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノニ於テ其ノ學科ヲ修メ卒業シタル者

三 中等學校令ニ依ル實業學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト認定シタル學校ニシテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノニ於テ其ノ學科ヲ修メ卒業シタル者

四 三年以上待遇官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ヲ要スル職務ニ從事シタル者

五 其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ヲ有スル者ニシテ普通試験委員ノ銜ヲ經タルモノ

前項第一號乃至第三號ニ規定スル大學ノ學部又ハ學校ニシテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノ及同項第四號ニ規定スル學術技藝ヲ要スル職務ハ普通試験委員之ヲ認定ス

第八條 二級技能官吏ノ任用及級級ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ付之ヲ爲ス

一 前條第一項第一號ニ規定スル者ニシテ三年以上技能官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ヲ要スル職務ニ從事シタルモノ

二 前條第一項第二號ニ規定スル者ニシテ四年以上技能官吏ノ職ニ在リテ其ノ從事スル職務ニ要スル學術技藝ヲ要スル職務ニ從事シ

内閣

タルモノ

三 八年以上三級技能官吏ノ職ニ在リテ其ノ従事スル職務ニ要スル
學術技能ヲ要スル職務ニ従事シタル者

四 其ノ従事スル職務ニ要スル學術技能ヲ有スル者ニシテ高等試験
委員ノ銓衡ヲ經タルモノ

前項第一號及第二號ノ規定ニ依ル前條第一項第一號及第二號ニ規定
スル大學ノ學部又ハ學校ニシテ其ノ従事スル職務ニ要スル學術技能
ニ關スル學科ヲ主タル學科トスルモノ竝ニ前項第一號乃至第三號ニ
規定スル學術技能ヲ要スル職務ハ高等試験委員之ヲ認定ス

第九條 一級技能官吏ノ任用及級級ハ其ノ従事スル職務ニ要スル學術
技能ヲ有スル者ニシテ一級官吏銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タルモノニ付

之ヲ爲ス

附則

本令ハ昭和二十一年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ第二條ノ規定ヲ除クノ外武官ニ付之ヲ通用ヒズ

第二條第一項中二級官吏トアルハ兼任官ヲ、第五條第一項第三號中一
級又ハ二級ノ事務官吏トアルハ事務ヲ掌ル勅任文官及兼任文官ヲ、
條第一項第一號中一級官吏トアルハ勅任文官ヲ、第六條第一項第二號
中二級官吏トアルハ兼任文官ヲ含ムモノトス

第三條及第四條第一項第五號中官吏トアリ第四條第一項中第七條乃至
第九條ニ掲グル官以外ノ事務官其ノ他ノ官トアリ第七條第一項中技官、
教官其ノ他特別ノ學術^技技能ヲ要スル官トアルハ武官ヲ含マザルモノトス

第五條第一項第二號ノ規定ノ適用ニ付テハ裁判所構成法ニ依リ判事、
檢事又ハ司法官試補タル資格ヲ有スル朝鮮總督府若ハ南洋廳ノ判事若
ハ檢事又ハ臺灣總督府法院若ハ關東法院ノ判官若ハ檢察官ノ在職ハ判
事又ハ檢事ノ在職ト看做ス
第七條第一項第三號ニ規定スル中等學校令ニ依ル實業學校ヲ卒業シタ
ル者ノ中ニハ中等學校令第十九條各號ニ掲グル課程ノ實業學校ヲ卒業
シタル者ヲ含マザルモノトス

内閣

理由書

勅任、奏任及判任ノ區分撤廢並ニ官名ノ統一等ニ伴ヒ官吏ノ任用
及敘級ニ關スル規定ヲ合理化スル等ノ要アルニ依ル

内閣